

“鮮度一番！”

No.213

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 柳田国男『地名の研究』を読む 第10便
- 2 / ひとことコラム
- 2～3 / 運営委員会で話されたこと
- 4 / 参加報告 編集後記

柳田国男『地名の研究』を読む

第10便

「フクラ」

海と山とに見られる地名として、柳田はフクラを取り上げ、吹浦、福浦、福良等の事例を紹介します。フクラは「膨（ふく）れる」の言葉と語源が同じで、「海岸にあつては湾曲せる海岸線を意味するフクラは、山地においては水筋の屈曲していることを表現する語となったのかあるいはまた狭い谷を入れて行って地勢が再びやや寛（ゆる）やかになったのを名づけたのであろう。」と解説します。平野ではフクラが見られず、フクロ・袋が登場します。変わった事例に、隈の漢字をフクラと読ませる鹿児島島の地名が紹介されます。通常、隈はクマと読まれ、カーブや陰になる場所を示します。阿武隈川、千曲川、熊野川、球磨川、鹿熊川等が思い浮びます。柳田は、「クマまたはフクラは川の岸がいったん狭まってまた広がる一部分の地名である。」と述べ、クマとフクラとが同類の地名だと指摘します。

今回で拙稿は終了します。お読み頂きありがとうございました。（杉野真司・H29.1.1）



昨年は、夜中の頻尿と足のつりで熟睡できない日々が続いた。

私も高齢者となり、今年のはのんびりと穏やかに過ごせる年にしたいと願い、初夢に託して早寝をした。しかし、残念ながら嬉しい夢ではなく、辛い不眠の夜となった。

4つの夢、①元職場で上司に怒られる夢、②仕事の後継者を必死に探す夢、③娘(現在39歳)の小学校時代の授業参観の夢、④買い物でお金がなく小銭を集めている夢、で目覚め、4回トイレに通う。30分後に悲惨な事態！両足(ふくらはぎ)が攣り、あまりの痛さに飛び起きる。エアサロンパスとマッサージで、あっという間に朝が来た。(ああ～、悲しい夢が初夢になってしまった)神経質で気の小さい私は、いつも心配事が夢となり、毎晩2～3回夢みて目覚める。

最近、良い睡眠のためのアドバイスで「無の訓練」を試みたが、何も考えずに無になろうとすると、逆に色々なことを考えてしまい、寝そけて大失敗！でも、物事は考え方次第。これが私の睡眠パターンと自覚して、睡眠負債に陥らないように努力しよう。

しかし、正月には嬉しいことが1つ。箱根駅伝2日間ゆっくりとテレビ観戦することができた。これできっと自分らしい穏やかな一年になるはずですね。

運営委員会で話し合われたこと

日時 平成29年1月11日(水) (AM9:30～11:30)

場所 男女共同参画センター(桜木町)

新年あけましておめでとうございます。

また一つ年はとりましたが、皆様と一緒に、パッションは持ち続けたいと思います。

2月の運営委員会は、第2水曜日2月8日(水)9:30～
男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

(※パッション：(「情熱」や「～したいと強く思う気持ち」)



1.

何か報告はありませんか？

楽しいお正月を終えて集まった運営委員は、口々に肩のこりを訴えます。どうやら集まった家族や親戚に振舞うためのお正月料理を大量に包丁で刻んだための筋肉痛のようでした。本当にお料理上手な皆様、お疲れ様でした。その難儀のうえに、いつもながらの団欒を持てたことに心から感謝します。

余談ですが、我が家は以前島田伸子さんの書いたひとことコラムに触発され、夫が積極的に夕食作りをしています。私のマンネリ料理に期待のもてないことも一因でしょうが、お蔭さまで夕食作りの1時間、私の自由時間となりました。もしかしたら篠笛のプロデビューも近いかもしれません…(^^)

2.

各種審議会等について

平成28年12月27日(月)13:30～ネットワーク三条代表者会議が開催されました。会議は、欠席しましたが、議題は2つ

- 1.三条市委託事業「男と女のライフスタイルセミナー」について
- 2.「第12回ひとひとフォーラム」のチラシ(案)について

1 については、ネットワーク三条としての提案書が出され、内容についての改善点が話し合われました。

2 については、チラシ(案)の表面と裏面のデザイン、記載内容等へ意見が出されたので、それらを取り入れて修正することになりました。

運営委員会では、三条女性会議の「女と男のコミュニケーション講座」で、いつもと違うちょっと何かをということで、ビスコリジナルを作ることになりました。

子どものお菓子としてロングセラーのビスコのお菓子の、市島先生の顔写真と「未来をかえる」の言葉を印刷します。当日受講者に無料で配布しますので、どうぞ楽しみにおいでください!

3.

三条女性会議、研修会&新年会について

1月21日(土)15:30～男女共同参画センターで行う“ちょこっと筋トレ”の申込状況等について確認しました。新年会だけ参加の宇治さんの一言「君達みたいな体育会系には、ついていけない。」体育会系(?)ではなく、年をとっても健康寿命をのばすための研修会ですってば…

4.

総会について

総会に行う記念講演会の講師に、当会の会員でもある川瀬弓子さんと決まりました。川瀬さんは、長年介護事業に携わってこられましたが、演題は、「ズバリ!ケアプランは自分で創りましょう」です。他では聴けない内容をズバリ講演して下さるそうですので、是非、万障繰り合わせでご参加くださいますようお願い致します。総会の日時は、6月10日(土)です。



【参加報告】

「みんなの学校」初代校長木村泰子氏の話を書いて 今こそ「問題こそチャンス」の「協育」を

米田 美智子

NPOさんじょうの事務局で、たまたま目にしたチラシ「みんなの学校流 自ら学ぶ子の育て方」を手にとり、弥彦線に乗って吉田産業会館へ行った。それほど関心があったわけでもなく、いつものことながら教育講演会にそれほど期待感がある私ではなかった。

しかし、どんどん人は集まってくるし、講演が始まったら私の心は久しぶりに興奮してきた。木村泰子講師のリアルな経験談が、あっという間に教育論の本質、人間論、社会論の領域に入ってゆくのである。学識経験者の講演となるとそうはいかない。いつまでも教育の理想論が抽象的なことばで語られ続けられる。

学級崩壊も経験した「いじめられ」中学校教師だった私は、その経験の中に、校長さんたちとは違う視点、「問題こそチャンス」という視点にたどりついた。当時の教え子たちは親に言わなかったというラッキーもあって、今はそのクラスと同級会が最も楽しい。彼らは言う。

「オレたちが、親に言わなかったから、米田はもったんだよ。今なら米田なんかクビになっている。」と。

「さんざんいじっておいてナニを言うんだ」と、噛みついてやった。楽しいひとときだった。

木村泰子氏の「みんなの学校」は、まさに問題こそチャンスの参加型「協育」だ。教員も、親も、目の前の子どもたちに寄り添い、子どもたちが自ら考え、学び、育てていくような場づくり、関係づくりを中核においている。

この考え方が広がることを願ってやまない。

編集後記：

雪かきと孫の子守りにあちこちにずっしりと疲労感満載の体をさすりながら鮮度一番初荷の213号ができました。インフルエンザでは無かったのですが、おじいちゃんおばあちゃんと孫たちは無事で助かりましたが、腕によりをかけたご馳走がみんな私の胃袋へ。少々の雪かきではダイエットにはならず残念！

どうぞ今年も鮮度一番をご愛読ください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>